

ニセ電話気づかせ隊による阻止事例

本年中の阻止件数(8月末現在)

- ・金融機関職員……85件
- ・その他の方……204件

家族、通行人、公務員、スーパー店員、コンビニ店員、知人・友人、タクシー運転手、病院職員、配送業者、警備員、介護士、民生委員、ヘルパーなど

金融機関の方による阻止が徹底されたことから、金融機関以外に設置されたATMなどに誘い出す手口が増え、金融機関以外の方の阻止事例が大幅に増加しています。

○スーパーの店員さんによる阻止事例

スーパーの店員さんが、高齢のお客さんが携帯電話で通話しながらATMを操作していたため、お客さんに代わって電話に対応する等して、ニセ電話詐欺の被害を防止しました。



○民生委員の方による阻止事例

民生委員の方が、担当する高齢の女性がスーパー ATM 付近の椅子に座っていたことから話を伺うと「保険金の払戻しをATMで行うから、ここで待つように言われている」と聞き、女性に代わって電話に対応する等して、ニセ電話詐欺の被害を防止しました。



○ヘルパーさんによる阻止事例

ヘルパーさんが、担当する高齢女性がタクシーを手配していたので、話を聞くと「医療費の払戻しを受けるためATMに行く」と答えたことから、ニセ電話詐欺であることを女性に気づかせ、被害を防止しました。

ニセ電話気づかせマイスター

声掛け等によりニセ電話詐欺の被害を2回以上阻止したニセ電話気づかせ隊の方を「ニセ電話気づかせマイスター」に認定しています。



●ファミリーマート福岡老司店 店長 末崎泰成さん
電子マネーカードを購入していた被害者に声掛けを実施して、ニセ電話詐欺(架空請求詐欺)の被害を未然に防止しました。昨年末に続き今回が2回目の阻止事案であったことから、ニセ電話気づかせマイスターに認定されました。
末崎さんは「これからも騙されている人が居たら積極的に声掛けをして、自分の店から被害者が出ないように頑張りたい」と話してくれています。

本年9月には、西日本シティ銀行の行員さん3名が新たにニセ電話気づかせマイスターに認定され、現在ニセ電話気づかせマイスターは12名となっています。

「私は大丈夫」と思う人ほどだまされる!? 明日はわが身と心得よう! ニセ電話詐欺の手口は日々変化!!

手口1 スーパーのATMに誘い出す

犯人は、医療費や保険料の払戻しがあると言って、あなたを金融機関の職員がいないスーパーなどのATMに誘い出し、電話で操作手順を指示し、お金を犯人の口座に振り込ませてだまし取ります。



手口2 博多駅などにおびき出してお金をだまし取る

犯人は、あなたの息子を名乗り「女性を妊娠させた」「会社の金を落とした」などのトラブルを口実に、お金を用意させて駅などにおびき出し、お金をだまし取ります。

手口3 次から次に新しい口実が作り出される

犯人は、

- 有料サイトにあなたが登録されていると言って、解約料金を口実にお金を指定口座に振り込ませる
- あなたに老人ホームの入居権利があると入居を促し、あなたが断ると、ほかに希望者がいるから名義を貸してほしいと頼み込み、後になって警察や弁護士を名乗る犯人が「名義貸しは犯罪」「裁判になる」「逮捕される」などと言って、あなたのお金をだまし取る

などのさまざまな口実であなたのお金をだまし取ります。

ニセ電話詐欺のことを覚えてもらうにはチラシが効果的!



- チラシについては、警察署で提供いたします。
- 必要な方は、最寄りの警察署の生活安全課に電話でお問い合わせください。

お問い合わせ先 福岡県警察本部生活安全総務課 ☎092-641-4141